

## ジャガイモを収穫しました！！

患者さんに協力していただきジャガイモの収穫を行いました。収穫時期が遅れて梅雨に入ってしまったのですが、当日は天候に恵まれ多くの方に参加していただきました。今年は例年以上の豊作で、みなさんに満足していただけたのではないのでしょうか。収穫したジャガイモは8月7日の昼食にヴィシソワーズ（ジャガイモの冷製スープ）として提供させていただきました。秋にはサツマイモの収穫を予定しておりますので、みなさんご協力お願い致します。



文責：作業療法士 山中基司

## 行事食のご案内

### 春の行事食



4月：お花見



5月：子どもの日

食事形態によっては対応できない場合があります。ご了承ください。写真はイメージです。

### 今後の行事食

7月7日：七夕      7月27日：土用の丑の日      8月15日：お盆  
9月16日：敬老の日      10月8日：体育の日      11月3日：文化の日



9月：敬老の日



10月：体育の日

## 理念・基本方針・利用者の皆様の権利

### 理念

私たちは、利用者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと心豊かな生活ができるよう、良質で信頼される総合的なリハビリテーションサービスを真心をこめて提供します。

### 基本方針

- 中途障害者の皆様の社会復帰や社会参加を促進するため、相談・評価から医療・訓練、就労援助までの、リハビリテーションサービスを一貫した計画のもとに提供します。また、保健・医療・福祉の関係機関と連携を図り、地域におけるリハビリテーションを支援します。
- 利用者の皆様一人ひとりの立場に立って悩みや希望を理解し、誠意を持った細やかな対応と良好な環境整備に努め、個人の権利を尊重したサービスを提供します。
- 病院は、専門スタッフが回復期を中心としたリハビリテーションにチームで取り組み、最適のリハビリテーション医療を提供します。また、インフォームド・コンセントを徹底し、安全で信頼される医療を提供します。
- 自立訓練施設は、家庭や職場、地域での生活を再構築するための通過型施設として、最適な相談・訓練等のサービスを提供します。

### 利用者の皆様の権利

- あなたには、個人として尊重される権利があります。
- あなたには、良質で安全な医療・福祉サービスを平等に受ける権利があります。
- あなたには、あなたの症状や障害の状態、リハビリテーション計画について十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
- あなたには、リハビリテーション計画をあなたの意志で選択し、決定する権利があります。
- あなたには、診断やリハビリテーション医療について、他の医師の意見を聞く権利があります。
- あなたには、プライバシーが守られる権利があります。



こころ通信  
いっぽ いっぽ

Vol. 11

地方独立行政法人 広島市立病院機構  
広島市立リハビリテーション病院・自立訓練施設  
〒731-3168 広島市安佐南区伴南一丁目39番1  
TEL(082)848-8001 FAX (082)848-8003  
e-mail riha-hosp@hcho.jp

## TOPICS

- ☆ごあいさつ(郡山病院長) ☆新入職員のご紹介 ☆腰痛予防講習
- ☆日本脳神経看護研究学会 ☆じゃがいもの収穫 ☆行事食のご案内
- ☆理念・基本方針・利用者の皆様の権利

## ごあいさつ ～地方独立行政法人広島市立病院機構への移行に際して～



リハビリテーション病院  
病院長 郡山達男

本年4月に広島市立リハビリテーション病院と広島市立自立訓練施設は地方独立行政法人広島市立病院機構として新たなスタートを切りました。

地方独立行政法人に移行しましても、リハビリテーション病院は自治体病院であることに変わりはなく、広島市の医療におきまして重い責任を担い続ける必要があることを十分に認識し、法人制度の特徴を最大限に活かし、求められる医療を継続的で安定的に提供していきたいと考えています。

医療を継続的で安定的に提供していきたいと考えています。

地方独立行政法人化されたことにより、リハビリテーション病院は長年の念願でありました365日リハビリテーションなどの実現のために必要な療法士が増員されました。365日リハビリテーションは、より集中的なリハビリテーションを実施することにより、より早期の自宅復帰やより良好な機能回復が期待され、病院機能の向上にも寄与すると考えます。また、看護体制の強化や医療支援室の充実のために看護師やメディカル・ソーシャル・ワーカーが増員されました。このような大幅な増員や非常勤職員の正職化は経営的には支出の増加を伴いリスクとなりますが、それを回避するために全職員が協力・連携して取り組むことを期待しています。

当院と自立訓練施設は、職員の皆様方や先輩方のご尽力のお陰で、患者さんや利用者の皆様から信頼され満足度の高い評価を得ています。この専門性の高い、良質のリハビリテーション医療をまずは維持し、さらに向上を目指していきたいと考えています。そのためには、職員一人一人が自覚を持って、知識を深め、技術を高め、心を磨き、資質の向上に努めることが大切であると考えます。

私自身は丁度、10年前に、広島大学病院で国立大学法人という独立行政法人化を経験しました。その結果、独立行政法人は頑張った人や組織が報われるよい制度であると実感しています。しかし、独立行政法人化されればそのまま良くなるものではなく、そのメリットを最大限に活用するためには、そのメリットを努力して一つずつ獲得していく必要があります。そのために職員の皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。

どうぞ宜しくお願い致します。

### 新入職員のご紹介



37歳、4年目の医師  
**牛尾会**です。小学校から始めたサッカーはFW→MF→DFとポジションを下げました。DFは広い視野・連携してのプレーが特に求められます。リハビリ医も、広く患者さんを診る目・スタッフとの連携が大切で、少し廻り道をしたのですが自分向きかもしれません。ただ勇気を持って前線に駆け上がりゴールを決める、そんなリハビリ医も目指しています。宜しくお願いします。



5月から医療支援室に心理療法士として入職しました、  
**瀧川剛**です。患者さんやご家族の不安や心配といった気持ちや考えなどを一緒に整理するお手伝いをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



2階病棟看護師の  
**金崎美香**です。4月に安佐市民病院から異動してまいりました。13年間、脳神経外科、神経内科、整形外科病棟に勤務していました。この経験を生かし、回復期リハビリ看護を行っていきたく思います。どうぞよろしくお願い致します。



言語聴覚士の  
**柱野恭志**です。4月から、主に1階病棟の患者さんを担当させて頂いております。出身は千葉県です。なぜ?と思う方、話し掛けてください。若い連中には負けじと、頑張ります。お手柔らかに、宜しくお願い致します。



作業療法士の  
**下地健広**と申します。利用者さんのニーズに合わせたリハビリが行えるように日々努力していこうと思います。よろしくお願いします。

独立行政法人化に伴い、**広島市立リハビリテーション病院・自立訓練施設に総勢30名のスタッフが来てまいりました。**  
**2014年春夏号では半数の15名の職員をご紹介します!!**



言語聴覚士の  
**立川渉**です。県立広島大学を卒業しました。趣味は料理で、誰かに作るとなるとより気合が入ります。色んな面で未熟な者ですが、精一杯頑張ります。簡単な自己紹介になりますが、今後も宜しくお願い申し上げます。



4月より自立訓練施設におります相談員の  
**竹本千華**です。入職より3ヶ月たち、ようやく慣れてきました。相談員として役に立てるように、これからも努力していきます。よろしくお願ひいたします。



4月から医療支援室で医事関係の担当をさせて頂いております  
**常松誠司**です。一生懸命取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願い致します。



初めまして。言語聴覚士の  
**山田裕美子**です。出身は兵庫県ですが、広島県に来て5年目になります。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願い致します。



広島市民病院からやってきました、検査科の  
**柳田紳一郎**です。残りあとほんの僅かですが、失敗に挫けながらも一日一日全力投球です。尚、テニスに興味のある方、一声かけて下さい。宜しくお願い致します。



理学療法士の  
**矢谷悠貴**です。県立広島大学を卒業し、当院に就職致しました。2階病棟に配属となりました。分からないことが多く、ご迷惑をお掛けすると思いますが、宜しくお願い致します。



4月から言語聴覚士として御世話になっております。  
**三浦勇人**です。広島生まれの岡山育ちです。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが一生懸命努力しますのでこれからよろしくお願い致します。



2年間回復期病院に勤め4月より作業療法士として働かせて頂いております  
**河口文香**です。まだまだ至らない点が多いですが患者さんに愛され信頼されるよう努力していきたいと思ひます。



こんにちは。理学療法士の  
**南大林栞里**です。スポーツ観戦やアウトドアが好きで、よくカーブの試合を見に行っています。明るく元気に頑張りますので、よろしくお願い致します。



自立訓練科に配属になりました事務職員の  
**水無瀬訓久**です。今までの経験を活かし、施設の職員として一日も早く利用者の方のお役に立てるよう頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

### 実践 腰痛予防講習

広島県地域リハビリテーション体制構築支援事業として、7月8日(火)午後、当院研修室で実践腰痛予防講習会を開催し、院外から約30名の介護・福祉施設従事者が参加されました。

厚生労働省では、第三次産業の労働災害防止対策を最重点の柱として掲げています。特に社会福祉施設については、介護・介助作業中に労働災害が発生した場合、作業者のみならず利用者が怪我をする恐れもあり、利用者の安全面の確保からも防止対策が重要です。前半は「リスクアセスメントの解説と演習(講師:日本労働安全衛生コンサルタント会広島支部)」、後半は当院職員による「福祉用具の取り扱い及び介助作業の演習(講師:日高主任看護師・園山作業療法士)」を行いました。

腰痛予防の要点を御紹介します。

●**腰痛予防に繋がる介助とは…お互いに楽であること!**

そのために必要な要素は、心、知識、感覚、身体、空間、経験です。

●**介助に大切なのは…対象者とのコミュニケーション!**

介助とは、声かけ・見守り・身体接触という3つの手段を通じて動きの方向をオリエンテーションすることです。

●**介助の優先順位は…安全性、快適性、促通性、効率性!**

実践コーナーでは、ベッド上での水平移動、ベッド上での頭側移動、寝返り、起き上がりの介助、立ち上がり動作の介助、移乗動作、下肢の支持性がない方の移乗介助などの練習を行いました。

約3時間の講義・実習は概ね好評でした。更にいろいろな介助方法を知り、練習したいという声も頂きました。

当院でも患者さんと職員にとって、安全な介助を心がけたいと思ひます。当日遠方より参加して下さった皆様、協力して下さった職員の皆様、本当に有難うございました。



文責:副院長 加世田ゆみ子

### 日本脳神経看護研究学会 広島地方部会

第17回脳神経看護教育セミナー(新人コース)が当院で開催されました。加世田副院長より「脳神経疾患の病態と治療」、小林理学療法士より「回復期病院における療法士の役割」。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師山根より「脳卒中リハビリテーション看護～観てみよう・やってみよう脳リハ看護～」の題目で1日研修を行いました。回復期リハビリテーション病院の開催は初めてであり、その特性を交えながらの研修は、アンケート結果からも90%以上の参加者が満足する内容となりました。



文責:脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 山根ゆかり